全画展

出雲の神像と神宝

木造十一面観音菩薩立像」(浄音寺:重要文化財

CO CO

重要文化財

「彩絵檜扇」(佐太神社蔵) ※展示期間は4/26(金)~5/19(日)

神々、松江へくざなう

重要文化財「木造摩多羅神坐像」(清水寺蔵) ※展示期間は5/21(火)~6/16(日)

2024.

4.26 (a) » 6.16 (b)

9:00-17:00 (観覧受付は16:30まで)
**オープニングセレモニーのため、4/26(金)のみ展示室は9:30開場

会期中一部展示替えがあります。

会 場:松江歴史館 企画展示室

休館日:毎週月曜日 ※ただし4/29(月・祝)、5/6(月・休)は開館。5/7(火)は休館。

観覧料:大人500円(400円) 小・中学生250円(200円)

※ 高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金。

※基本展示室とのセット券の料金は大人800円(640円)、小・中学生400円(320円) ※()内は20名以上の団体料金。

主催/松江歴史館 後援/島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰





松江市立

松江歷史館

Facebook X Instagram で最新情報を配信中!

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地 TEL 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611 ※最新の情報は松江歴史館ホームページにてご確認ください。 https://www.matsu-reki.jp/



本人は仏教伝来以前、 樹木などに宿るものと考え 神を海

出

雲

像を目にすると、やがて神の 体的な神の姿を表しませんでし 大陸から仏教が伝わ

済するために仏が神の姿となって現 像です。同時に日本人は、 を表すようになります。それ 人々を救 が

我々同様の生活を送っていると考 また、日本人は神が衣食住において

衣装や化粧道具など神が日常

られ信仰されました。

れたと考え、仏像も神像同様に祀

島根県指定文化財「木造牛頭天王坐像」(鰐淵寺蔵

「御櫛笥及内容品」(出雲大社蔵)

EVENT

学芸員による展示解説

ギャラリートーク [申込不要]

5.18(土)、6.2(日) 各日14時~15時 会場: 松江歷史館 企画展示室 ※ 企画展観覧券または年間パスポートが必要です。

リレー講座

会場:松江歴史館 歴史の指南所 定員:各日60名(聴講無料、要予約、先着順) 各目14時~15時

【お申込み先】松江歴史館 TEL 0852-32-1607(9時~17時、月曜除く)

「仏の姿をあらわす神 4/27(土) 一本地仏」

講師:的野 克之(当館学芸専門監)

「370年前の地誌『懐橘談』で / 11(土) 見る出雲国」

講師:新庄 正典(当館主任学芸員)

「美の玉手箱、国宝・ 5/25(土) 秋野鹿蒔絵手箱について」 講師:大多和 弥生(当館副主任学芸員)

「ゑびす様に願いを託す 6/1 (土) 一鳴物奉納のワケー」

講師: 笠井 今日子(当館副主任学芸員)

「すみずみまで見てみよう! 8(土) 出雲大社蔵三十六歌仙図額」 講師:藤岡 奈緒美(当館副主任学芸員)



市内交通バス

●ぐるっと松江レイクライン

JR松江駅より13分

「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」下車徒歩3分

●一般路線バス

JR松江駅より9分、「県民会館前」下車徒歩5分 JR松江駅より15分、「塩見縄手」下車徒歩1分

自動車

- ●山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
- ●松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
- ●当館敷地内におもいやり駐車場あり

飛行機

●出雲空港へ

東京(羽田)90分、大阪(伊丹)60分、福岡70分 名古屋(小牧·中部国際)70分、静岡90分

- ●米子空港へ 東京(羽田)80分
- ※ 各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行しております。 出雲空港(35分)/米子空港(45分)





松江市立

江歷史館

Facebook X Instagram で最新情報を配信中!

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地 TEL 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611 ※ 最新の情報は松江歴史館ホームページにてご確認ください。 https://www.matsu-reki.jp/





について考えます。

0)

人々の神々に対する思いや

信 出

や仏像、

神宝などを展示し、

本展では、

出雲の寺社に遺る神





きました。それが神宝です。

生活に必要なものを造り奉納して